

日本地域福祉学会

No.66 2011.08.08

発行 日本地域福祉学会

〒160-0008 東京都新宿区三栄町8 森山ビル西館401

TEL 03-5363-1518 FAX 03-5363-1519

URL <http://www.soc.nii.ac.jp/jracd/> E-mail chiiki-g@jt2.so-net.ne.jp

発行人：牧里 每治 編集人：小松 理佐子

CONTENTS

第25回大会を終えて	1
総会議事録	2
第8回地域福祉優秀実践賞	5
第25回大会に参加して	6
東日本大震災復興支援・研究特別委員会	7
学会研究プロジェクト	8
第9期役員紹介	9
第9期編集委員会発足／復興支援活動支援金	11
新入会員紹介／Information	12

第25回大会（東京大会）を終えて



大会事務局長 加山 弾

去る6月4日、5日に第25回大会を無事開催することができました。会期中ご参加くださった皆様、大会の運営を支えてくださった皆様、そして格別のご指導とご支援をいただいた学会本部の皆様、まずは心より感謝申し上げます。

当初、震災の影響でどれだけの方にご参加いただけるか予想がつかなかったのですが、約600名の方がお越しくださいました。しかし、被災地方面では、参加を見合わせた会員もおられたこととお察しいたします。

開催にあたり、東京都社会福祉協議会、文京区・墨田区社会福祉協議会をはじめ、多くの社協、各団体からお力添えをいただきました。また、首都圏の大学に所属する会員も運営委員や実行委員として支えてくださったほか、開催校である東洋大学の教職員からも協力を得ました。今回できたネットワークをこれからも維持・発展できればと願っています。

本大会ではテーマが二つあったと考えています。一つは、総合テーマである「大都市におけるコミュニティ再生への多様な取り組み」です。都市部では、効率的でスマートな生活を追求してきた結果、「都市型無縁社会」といわれる状況を生み、孤独死などとして事象化しているのだと思います。それに対し、行政や社協だけでなく、住民、NPO、企業による新しいつながり方を模索したいという思いが講演やシンポジウムの背景にありました。

二つ目は、当初予定になかった東日本大震災の被災地支援というテーマです。震災直後から現地でレポートを続けておられる都築理事を始め、支援の最前線で活躍される方々から貴重な報告や資料の提供をいただき、3本のプログラムを追加できました。学会としてこれから被災地とどう向きあっていくのか検討する機会になったのではないかと思います。

実は、震災時には大会スタッフにも自宅の損壊、ライフライン断絶、帰宅難民化（幼い子どもが地元に取り残される）などがありました。余震の続くなか、大会事務局のある建物も鉄骨が軋み、右に左に揺られて作業の中断もしばしばでした。被災地の惨状とは比較になりませんが、震災の怖さを知り、復興や防災について考えながらの大会準備でした。

難しい局面もありましたが、協力体制の下に創り上げる醍醐味がありました。事務局のいたらない点をお詫びしますとともに、お支えいただいた皆様に重ねてお礼申し上げます。